

takasu public relations

—伝わり、繋がる、みなさんをつくる広報

広報たかす

SEPTEMBER
2018
9月
No.804



｜特集｜

笑顔になれるまち

たかすで暮らす





CONTENTS (目次)

きら★びと	02
特集 笑顔になれるまち たかすで暮らす	04
エレナさんのコラム クオッカの日記 町長コラム 大先輩の里帰り	10
地域おこし協力隊活動便り 魅力発信！広報ガール	11
Topics (まちのニュース)	12
photo report たかす熱夏フェスタ 2018	15
鷹栖地区住民センター休館のお知らせ	16
Information (今月のお知らせ)	17
カレンダー、人口・世帯情報など	20



田尻 ^{はるや}陽也さん

北野東4条3丁目

小学2年生から野球を始め、現在は鷹栖中学校野球部に所属。部活動以外にも北海道選抜チーム(U-15)の一員として、全国大会や国際大会に出場し、ピッチャーとして活躍している。

9

2018 No.804



——国際大会に出場した経験を生かし、 目標に向かってさらなる努力を

今月の『きら★びと』では、北海道選抜チームの投手・外野手として、国際大会に出場した田尻陽也さんをご紹介します。

「野球を始めたきっかけは父親」と笑顔を見せる田尻さん。小学校2年生の時に北野野球少年団に入団し、以降、父・裕之さんと二人三脚で野球に励んでいます。小学生の頃はプレッシャーに弱く、チャンスでボールを打つことができなかったため、自宅ではとにかくバットをたくさん振ったと話します。

中学生になり、野球部に入部。シャドウピッチングをするなど自主練習にも打ち込み、1年生の5月には、投手として試合に出場することができました。「初めての試合はとても緊張しましたが、バッターと勝負を楽しむことができました」と当時を振り返ります。

中学2年生の時に14歳以下の選手で構成される北海道選抜チームの選手

として選ばれ、3月には「第19回全国中学生軟式野球大会」に出場。チームは全国優勝を果たし、田尻さんは優秀選手として表彰されました。（広報たかす平成30年4月号で紹介しています）

また、8月4日から6日に台湾で開催された「第18回環太平洋中学生軟式野球国際大会」にも北海道選抜チームの一員として出場しました。大会には日本、シンガポール、台湾から6チーム、100名を超える選手が集結。試合はリーグ戦で行われ、結果は5戦5勝、うち3試合はワールド勝ちという成績を残し、見事優勝を勝ち取ることができました。

田尻さんは、第2試合の前金国民中学（台湾）と第4試合のBCS（シンガポール）戦で先発投手として、第5試合の忠孝国民中学（台湾）戦で中継ぎ投手として登板。3試合で9回を投げ無失点、9三振を奪う大活躍を見せました。試

合を振り返り「コントロールが乱れた回もありましたが、仲間の守備に助けられ、無失点に抑えることができました。コントロールが課題に感じているので、投球フォームを意識して今後も練習に取り組みたいです」と話します。

「初めての国際大会で優勝に貢献でき、とても良い経験になりました。高校野球では甲子園出場が目標なので、精神、技術、身体全てが一回りも、二回りも成長できるよう、さらに努力を重ねたいです」と力強く意気込みを話しました。



大会でピッチャーとして活躍した田尻さん

—特集—

笑顔になれるまち

たかすで暮らす



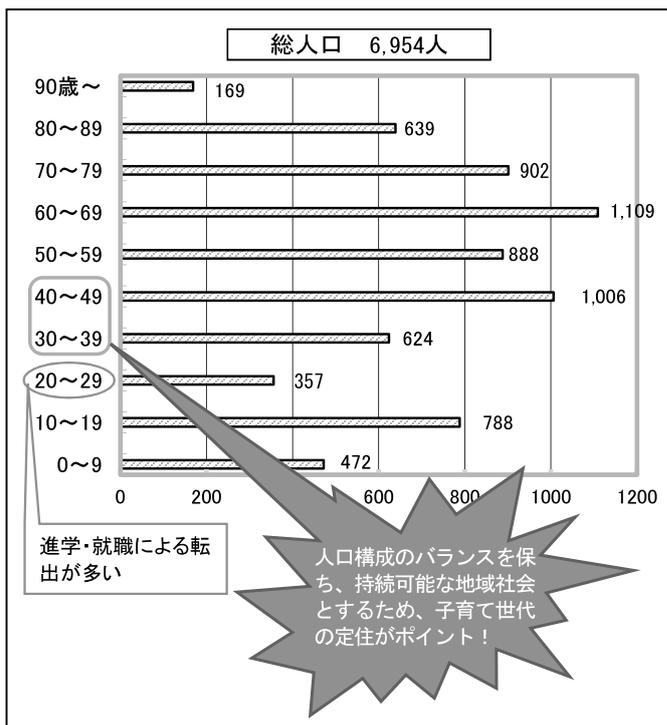
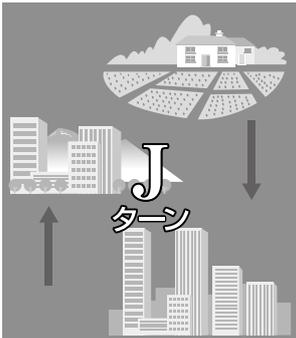
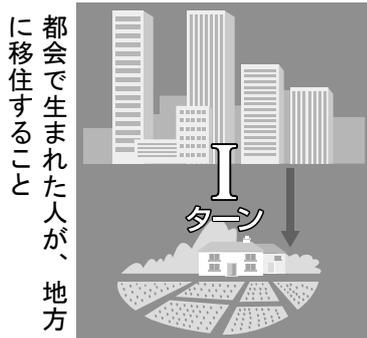
なぜ移住・定住施策が必要か

日本全体の人口は平成22年の約1億2,800万人（国勢調査結果）をピークに、平成27年では約1億2,700万人と国勢調査開始以来、初めて減少しました。鷹栖町においても同様に、人口の減少が進んでおり、特に生産年齢人口が緩やかな減少に転じています。

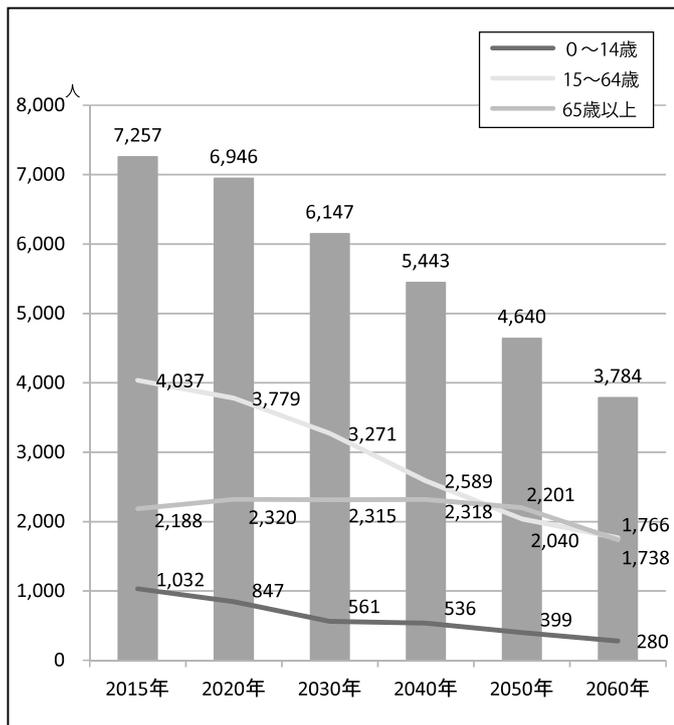
右下の年齢別人口のグラフ1を見ると、若年層に比べ、高齢な世代の人数が多く、少子高齢化の人口構成となっています。また、進学や就職を機に、10代後半〜20代の若者における転出が目立ちますが、一方で、30代〜40代の子育て世代がUターンやIターンで鷹栖町に転入するケースも多く、人口の層が厚くなっていることが特徴です。

平成27年10月に策定した「鷹栖町人口ビジョン」では、これまでの人口の推移や背景、人口の動向などを基に、町の総人口と年齢3区分別人口の将来推計を行いました。40年後の総人口は、現在の約50%になると推計されており、その中でも15歳〜64歳の生産年齢人口の減少が、急速に進むことが予想されています。

生産年齢人口の減少は、働き手や担い手不足につながり、地域の活気が少なくなることも懸念されます。地域の皆さんが生き生きと暮らし、それぞれの希望が叶う「あつたかすなまち」を実現するための一つひとつの方策として、移住・定住の取り組みを進めています。



グラフ1 (年齢別人口・平成30年3月31日現在 資料:住民基本台帳)



グラフ2 (人口の将来見通し 資料:鷹栖町人口ビジョン)

移住・定住に向けたさまざまな取り組み

町を知り、関心を持ってもらい、鷹栖での暮らしを体験、移住を考えてもらうだけではなく、移住後もさまざまな支援をしています。地域と関わり、参加していただくところまでが町の支援です。

3. 移住を実現!

- 空き家・空き地バンク
不動産業者と連携し、内覧会やセミナーを開催
- 住宅建築や空き家改修への補助事業
町内の住宅を新築、空き家を改修して居住される場合などに、費用の一部を助成
- 移住後の支援、地域との関わり
移住者に地域と関わりをもって鷹栖らしい暮らしを実現していただくため、情報提供や地域参加をサポート など

2. 体験してもらう

- ちょっと暮らし移住体験
移住体験住宅で鷹栖での暮らしを体験してもらう
- ワーキングホリデー
首都圏の大学生などが長期休暇を利用し、1カ月程度町内に滞在。農作業やまちのイベントを通して町民と交流する
- 移住体験ツアー
農業、介護、保育の3部門で、就業が体験できるツアーを実施 など

1. 知ってもらう

- 移住PR動画やパンフレットの活用
- 町ホームページの充実
- 移住相談会の開催
新規就農者の確保対策や道内の自治体と連携して実施
- ふるさと回帰支援センターの活用
北海道担当の相談員が移住希望者へ、地域情報を提供し、各種相談に応じる など

- 移住相談窓口の設置 住まいのことから仕事のことまでワンストップ相談窓口を役場内に設置



認定NPO法人
ふるさと回帰支援センター
北海道相談員 大貫絵梨さん
(神奈川県在中)

北海道担当の相談員の方に聞きました

「ちょうどいい田舎暮らし」を求めて

北海道への移住を希望されている方は、旅行で訪れたことをきっかけに、自然や食の豊かさに魅力を感じ、移住を検討される方が多いです。

相談は20～30代の首都圏出身や在住の方が多く、結婚や子育てを機に移住を検討する方が多いです。移住先も、都市部やその近郊など田舎すぎず都会すぎない「ちょうどいい田舎暮らし」を求めている方が多いように思います。鷹栖町は旭川市に隣接し、かつ、豊かな自然や農作物にも恵まれているので、移住地としての

可能性をととても感じています。

また、雪国での居住経験がない方からの相談が多いのも特徴的で、冬の生活については除雪や雪道での運転をはじめ、冬の暖房代・光熱費などを気にされる方が多いです。仕事については、農業に挑戦したいという方もいますが、多くの場合は企業などへの就職を希望されており、移住希望者側と受け入れ地域側の間にミスマッチが生じていることが現在の課題だと感じています。

相談会がきっかけで移住

移住を考えるきっかけはさまざま。
イベントで鷹栖町を知り、移住体験ツアーへの参加を通して
鷹栖での暮らしを体験。そして移住を決意。



菅野 恵子さん
東京都→鷹栖町

過ぐせば過ぐすほど好きになる

北海道の雄大な自然に憧れ、旅行を重ねるたびに「いつかは住みたい!」という気持ち芽生えました。結婚を機に北海道への移住を検討。お試し移住や移住相談会にも何度か足を運びましたが、タイミングも悪く、移住する夢は叶いませんでした。

鷹栖町との 出会いは偶然

平成29年6月に都内で開催された「本気の移住相談会」に参加。鷹栖町のブースの前を通り、相談席が空いていたのを見て「ちょっと話しをしてみようか」と

まいなどの情報を定期的に連絡していただきました。住宅を決める際は、内観が詳しく分かるように撮影し、送っていたいただいた写真を見て即決でした。実際に見る前に住宅を決めましたが、以前に暮らしていた方がとても丁寧に使われており、理想どおりの住まいに大満足です。

地域の方に 支えられて

4月に移住してからは、長男も「引越してよかったです!」と毎日楽しそうに学校に通っています。また、自宅から見える大雪山連峰や田園風景、地域の方の優しさに、さらに町が好きになりました。先日、東京から鷹栖に帰ってきた時には「帰ってきた」という安心感もありました。移住し、4カ月しか経っていないですが、今では鷹栖町が一番落ち着く場所になりました。

菅野さんの住まいは...

空き家を
活用した
農地付き住宅

農地を取得するためには、耕作する農地の面積が2ha以上であることが要件になっています。平成29年度から農業委員会は、空き家に隣接する農地に限り、その面積を1a以上に緩和しました。

このことにより、空き家に隣接する農地の耕作放棄の発生を未然に防止でき、家庭菜園などに興味のある新規居住希望者の定住促進を図ることができるようになりました。

安心して 移住できた

移住相談会後も、子どもの学校やスクールバス、住



仕事の都合で、今冬移住予定のご主人・智人さん。夏休みを利用して公民館行事に参加

鷹栖町で暮らす

この町に1ターンで移住された方、もともと住んでいてUターンされた方に、町での暮らしや魅力などを伺いました。



平林 悠さん・純子さん

愛知県→鷹栖町

鷹栖町と農業の魅力を伝えたい

農業の道へと進むため、製薬会社を退職し、平成28年4月に町へ移住。2年間の研修期間を経て、今年4月から独立経営を始めました。

移住者だからこそ伝えられることを

町が开展する移住相談会などのイベントに同行し、来場者に農業や町の魅力を伝えるなど、私ができることを協力しています。新規就農者である私が、「農業は家族と過ごす時間をつくることができ、楽しい仕事」ということを伝えることで、農業に対するイメー

ジも変わると思っています。

また、私が移住する際に不安や不満に感じた点を解消することで、移住希望者が鷹栖町を選択する可能性も増えると感じています。

たくさんの方が鷹栖町を訪問

鷹栖町を訪問

相談会での出会いや口コミなどをきっかけに、町や農業に興味を持たれた大勢の方が、町を訪れています。ブルーベリー狩りや町内のイベントと一緒に参加し町を知ってもらい、田植えなどを通して農業に触れ、鷹栖牛や自宅で獲れた野菜、お米でバーベキューを楽しみ、鷹栖町を満喫していただいています。

人と人とのつながりから新たな出会いが生まれまします。町に訪れた人に「鷹栖町は良い町」ということを知ってもらい、「鷹栖町に来てみたい」「農業をしてみたい」と思う人が、増えてくれれば良いなと思います。

ふるさと鷹栖の全てが好き

おといねつぷ美術工芸高校へ進学し美術を専攻。卒業後は札幌市内の専門学校へ進み、市内で1年間勤めていましたが、「鷹栖町が好き」との強い想いから、今年の春にUターン。現在は、生まれ育った北成地区で暮らしています。

地元の魅力を改めて実感

3年間過ごした札幌市は都会。鷹栖町にはない魅力もたくさんありました。将来、子育てをすることを考えると、子どもが自由に遊べる環境が少ないと感じ、改めてふるさとの魅力

に気付きました。

私は、北成地区で生まれ育ち、この場所ではできない経験がたくさんあることができました。子どもの頃から、自然の中を走り回り、生き物や植物と触れ合うことができたことは、とても素晴らしい思い出です。そのため、自分が子育てをするなら「絶対に鷹栖町」と決めていました。

自分らしく

いれる場所

北成地区住民センターから見る大雪山や星空、田園風景は私にとってのふるさとの景色。自分らしくいることができる場所だと思っています。北成地区では、みんなが顔見知りです。何か困っていることがあれば地域の人たちが助けてくれ、応援をしてくれる。温かい笑顔であふれる、ふるさが大好きです。



照井 李彩さん

鷹栖町→札幌市→鷹栖町

未来の町民はどんな関心が？

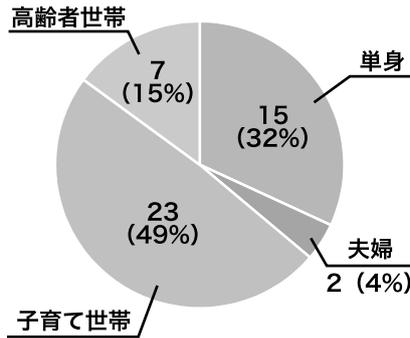
どのような方が鷹栖町への移住を希望していて、
どのようなことに関心を持っているのでしょうか。

グラフ5
主な相談内容は？

-
- 1位 住居情報 34件
-
- 2位 暮らしや支援に
関する情報 24件
-
- 3位 子育て情報 18件
-

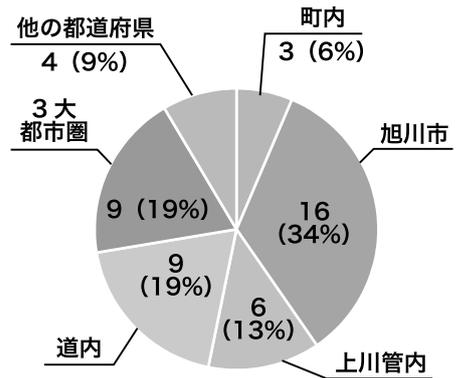
上記のほかにも、「定年退職後の暮らし」や「仕事に関する情報」についての相談のほか、鷹栖町や近郊の町に家族が住んでいるなどの理由からUターンを希望される方からの相談も多いです。

グラフ4
相談者の世帯構成は？



グラフ3とグラフ4からは、特に子育て環境の良さから移住先の選択肢として問合せに至ったものと推測されます。また、自然・医療・教育などの環境に対する関心の高さも伺えます。

グラフ3
相談者の居住地は？



町内からの住み替えについての相談も含め、道内からの相談が3/4を占めています。もともと鷹栖町について知識や関心を持っていた方からの問合せが多いと推測されます。

人も「笑顔」も増やす 移住施策を指して

人口減少や地方創生が叫ばれ、各地で盛んに移住者を呼び込む取り組みが進められています。移住施策は、単に移住者を増やすことがゴールではなく、まちに住む方が暮らしやすく輝けるまちづくりを持続するために取り組むものだと、鷹栖町では考えています。移住者が増え、人口の構成バランスが保たれることはもちろん大切ですが、移住者にとっても地域の住民にとっても、「移住」はゴールではなく新たな生活への「スタート」。移住した方と地域とがつながりを持ち、一緒にあって「私の」「地域の」「鷹栖町の」暮らしを作り上げていくことが、住民の誰もが安心して暮らせる、希望が叶う地域社会を実現するために必要だと考えています。



「移住」と聞くと移住者のことと考えがちですが、基本にあるのは「まちで生活する全ての方の暮らしが良くなること」。教育も、福祉も、コミュニティも、あらゆる取り組みの魅力を高め、住民の方のパワーと満足度が高まり「笑顔」を増やすことが、移住施策の原点です。そんな住民の姿に魅力を感じ、鷹栖町に住みたいと願う「みんな笑顔であつたかす」な仲間が増えていくことを目指しています。



クオッカの日記 No.5

クオッカとは、世界一幸せな動物
と呼ばれるワラビーの一種



外国語指導助手
エレナさん

ハロー、鷹栖町！！

北海道の夏がここまで暑くなるなんて知らなかった！！「寒い」っていう感覚が思い出せなくなるくらい暑い夏でした。今月の広報が配られる頃には落ち着いているんでしょうね。

「暑い、暑い」と言いながらも、夏は大好きな季節です。日中の輝く緑と日没後の虫やカエル声。変わり者と思われるかもしれませんが、カエルを探しに夜な夜な近所を散歩しています。道路脇で何か突きながら歩いている外国人がいれば、それは確実に私です！！

町内のさまざまな夏の行事も楽ませてもらいました。夏休み中も、地域のお祭りで子どもたち同士が顔を合わせるって素敵ですね。私もたくさんの鷹栖っ子に会えて嬉しかったです。

また、小さな子どもから高齢者まで幅広い年代の方たちが大勢来ていて、行事をとっても楽しみにしている感じやいろいろな人たちが協力し開催されているイベントなのが伝わり、とても感動しました。

もう一つの感動は、初めて見た獅子舞。呼吸を合わせ華麗なステップ踏みながら演舞するのは、どれだけ大変なことか想像もできません！！舞う獅子の姿は、本当に生きているかの様でした。私も頭を噛んでもらったので、より健康にそしてより賢く、さらにはより幸運に？なったのかなと思っています。その証拠に、同日初挑戦した金魚すくいで綺麗な金魚を上手にすくうことができ、今は私の鷹栖町での家族となってくれています。

北海道の夏は海の景色のほかに、食べ物も楽しみました。シーフードにはいろいろな初挑戦がありました。大トロ、イカ、ウニにエンガワ。どれも美味しかったです。よく聞く、フグっていうお魚も必ずどこかで食べてみたいな！！



あつたかす発

北の大地から

大先輩の里帰り

毎年、ふるさと鷹栖町への帰省を楽しみにしている方も多いと思う。

姫路市に在住している内山徳義さんも、その一人だ。大正9年生まれの御年98歳。現在は、一代で築いた運輸会社の代表権を息子さんに譲り、今は悠々自適の生活を送られている。

10線7号で誕生し、鷹栖小学校・鷹栖第一中学校を卒業され、17歳の時に、役場の掲示板にあった「開拓3年後には、20haの土地を与える」のポスターを目にして、満州開拓青少年義勇団に参加。3年経たずして昭和15年に軍隊に召集され、5年半後にインドネシアで終戦を迎え、昭和21年8月11日に実家に戻ったという。その後、縁があり結婚し姫路市に移住。運輸会社を興し、事業を拡大し、成功を収めた。また、地域

鷹栖町長 谷寿男

からの人望も厚く、農地の所有もしていたことから70歳を超えて「姫路市農業協同組合」の組合長に就任されたというから驚きだ。

同級生の故廣瀬由松さんは親友であり、お互いの近況などを年20通以上も手紙でやり取りし、鷹栖小学校開校100周年に同級生で記念品を贈ろうと企画し、学校前庭に時計塔を寄贈。ここ数年は毎年里帰りされ、町の活性化を願い、町内行事などに寄付を続けてくれている。

内山さんは帰省毎に「今年が最後だと思おう」とおっしゃるが、98歳の今年の方が元氣に見えるほど健康であり「ふるさと鷹栖町の発展を願う想い」にあふれ、会話の最後は「落ち」で人を笑顔に変える「人格」は本当に魅力的だ。

7
/ 25

飲酒運転根絶キャラバン

公益社団法人北海道交通安全推進委員会主催の飲酒運転根絶キャラバンが鷹栖町役場庁舎前で開催され、町交通安全指導員ら約20名が参加しました。

今回の取り組みは、道民一人一人に「飲酒運転をしない、させない、許さない」を広く定着させ、道民の飲酒運転根絶への意識向上を図ることを目的に行われており、平成28年度から3カ年をかけ道内の全市町村を巡回しています。

当日は、町民代表者が「交通ルールを順守し、飲酒運転をしない」などの飲酒運転根絶道民宣言を読み上げ、吉野三郎筆頭副会長は「自動車を運転する方が飲酒の影響をしっかりと認識することが必要。飲酒運転を根絶するためにどのようなことが必要か、町と住民で話し合ってほしい」とあいさつしました。

7
/ 26

鷹栖高校 介護職員初任者研修開講式



鷹栖高校で介護職員初任者研修の開講式が行われ、今年度受講する同校の2年生13名が出席しました。研修は、介護職員として必要な知識や技術を学び、福祉現場の人材を確保することを目的に、平成27年度より実施し、3年間で50名が合格しています。

受講者は、夏季休暇期間などを利用し、来年2月までの間に「介護の基本」や「認知症の理解」など、10科目を130時間かけて学びます。

開講式では、宝田教育長が「福祉への意識と意欲を高め、社会に有益な人材になってほしい」とあいさつし、受講者代表の門木大知さんが「福祉現場で働く職員としての力をしっかり身につけます」と宣誓をしました。

8
/ 2

花かいどう（13線16号北斗バス待合所）オープン

加工品の直売所として6年ぶりに活用された花かいどう。第1回目は、四季の里で加工品を作っている、米・こっこのシフォンケーキと、健翔のハスカップジャムや乾燥ヨモギなどが販売され、約40名が来場しました。

花かいどうは、北斗女性グループ「花りんご」が手づくりの豆腐や農産物などの販売場所として活用していましたが、平成24年3月に活動の幕を下ろして以降、活用方法が検討されてきました。23日に開催された第2回目の販売会では、デメテルのトマトソースや、トマト、きゅうりなど、約15種類以上の野菜が販売されました。

シフォンケーキを買いに訪れた北斗地区の方は「自動販売機や軽食などがあれば、休憩しに来た人などの利用が増えると思います。このようなスペースがあると、地元の人たちが集まって交流する機会にもなり、とても良いですね」と言い、昔話に花を咲かせていました。



8/4

きたのde縁日

Da・マルシェ北野店前で、あつたかす北野サロン運営委員会主催の縁日が開催されました。縁日の開催は今年度で3回目。好天となったこともあり、大勢の家族連れで賑わいました。

出店では子ども向けの射的や金魚すくいのほか、かき氷や焼きそばなどを販売しました。

親子で訪れた方は「子どもが夢中になって遊んでいました。夏の思い出の一つになったと思います」と話しました。



8/7-8

たかすサマーキャンプ

町教育委員会主催の「たかすサマーキャンプ」が開催され、町内の小学3〜6年生の8名が参加しました。

一日目は、鷹栖地区住民センターで開会式とオリエンテーションを行った後、原崎農園で夕食に使用する野菜の収穫体験を行いました。その後、パレットヒルズへ移動し、就寝するテントの組み立て作業を行い、夕飯の力

レーライスを作りました。

二日目は朝のラジオ体操を行った後、トンボ探しや火おこし体験などを行い、自然の中での活動を楽しみました。

参加した子どもたちは「シラカバの木が燃えやすいなんて知らなかった。自分たちで火を起こすなど、普段できない体験がたくさんできました」と笑顔で話しました。



8/11

パレットヒルズ

押し花体験会

パレットヒルズで町観光協会主催の押し花体験会が開催され家族連れら15名が参加しました。

今回の取り組みは、公園の魅力を再発見し、発信してもらい、ふるさとに対する愛情を育むことを目的とし初めて開催しました。

体験会は花育・共育プロジェクトの宮崎民雄

氏が、押し花加工をする際のポイントなどを説明し、その後、公園内で採取した草花や、事前に用意されていたものを「しおり」や「はがき」などに加工。

参加者は「加工しても花の香りが残っていることに驚きました。3歳の子どもも簡単に加工することができ、とても記念になりました」と話しました。



鷹栖町功労者表彰



酒井雅憲さん



寶田信明さん

永きにわたり消防団員を務められた酒井雅憲さんと寶田信明さんが鷹栖町功労者として表彰されました。

酒井さんは平成12年4月、寶田さんは平成15年6月から、ともに15年以上の間、地域の防災と治安の維持に多大な貢献をされました。



銃剣道で全道3位／大野夏輝さん（北野小3年）

母・裕美さん（ひろみ）の影響を受け、6歳頃から銃剣道を始めた夏輝さん。週に2回程行う練習では、裕美さんが「構え」や「足さばき」などの基本技の指導をしています。

夏輝さんは、7月15日に恵庭市で開かれた「第10回北海道少年少女銃剣道大会」の小学3・4年生の部（団体戦）に旭川銃剣道・短剣道同好会の仲間と出場し、見事3位に入賞。8月1日に日本武道館で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

全国大会では、姿勢や発声などを競う基本技試合の小学生3年生の部に出場。リーグ戦の結果は2戦とも2対1で惜しくも敗れてしまい、決勝トーナメントへ進出することはできませんでした。夏輝さんは「相手は発声もはっきりしていて迫力がありました。来年こそは、リーグ戦を勝ち抜き、トーナメント戦進出を目指したいです」と意気込みを話しました。



柔道で全道優勝／渡邊天海さん（永山中2年）



6歳から柔道を始め、小学5年生（北野小）の時に全国大会で3位に輝いた渡邊さん。現在は、柔道の道を究めるため、旭川市立永山中学校に通っています。女子の中では敵なしで、練習相手は3年生の男子。「男子は力が強く、体形も劣るので、技のかけ方やかけるタイミングを考えて練習しています」と話します。

7月26日から27日に釧路市の湿原の風アリーナ釧路で開催された「第46回北海道中学校柔道大会」では、1回戦目から決勝まで全試合一本勝ちで優勝。4年連続となる全国大会への切符を手にすることができました。「準決勝は3年生の優勝候補の選手が相手でした。対戦するまでは『強い相手…』と緊張もしましたが、抑え込みで一本を取ることができました」と振り返ります。8月17日から20日にかけて行われた全国大会では、各地から集まった強豪相手に3位という成績を取めました。

陸上・円盤投で全道3位／栗林碧人さん（旭川東高3年）

高校に進学後、監督に勧誘されたことをきっかけに、陸上部に入部した栗林さん。部活動の練習は週6回、夏は陸上競技場で、冬は筋力や脚力を高めるトレーニングに励み、1年生の頃から、円盤投のほか、砲丸投、ハンマー投の選手として活躍していました。

栗林さんは6月12日から15日に札幌市厚別公園陸上競技場で開催された、「第71回北海道高等学校陸上競技選手権大会」の男子円盤投の種目で自己ベスト40.83mの記録を残し、3位に入賞。8月2日から6日に三重県伊勢市で開催された全国大会に出場しました。

初めての全国大会では、会場の大きさや観客の人数、選手の体形など、今までに経験したことのない雰囲気緊張したと言います。記録は35.57mで、全道大会での実力を発揮することができませんでしたが、「全国レベルの選手の中で競技をすることができ、新たな発見や自信にもつながりました。陸上に挑戦して本当に良かったです」と笑顔を見せました。





世界で一番熱い夏

たかす熱夏フェスタ 2018

8月4・5日、第24回目となる「たかす熱夏フェスタ 2018」が開催され、2日間で9,000人を超える方が来場しました。

前夜祭・本祭ともに晴天となり、露天には飲食物を買い求める客の行列ができました。また、アンパンマンショーやダンス、ディスコナイトなどのイベントも、大勢の観覧者が集まり大盛況となりました。



新鷹栖地区住民センターの開館まであと少し！

鷹栖地区住民センター休館のお知らせ

改築に伴う移転準備のため、次のとおり鷹栖地区住民センターを休館します。

休館期間中、皆さんにはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

◆休館期間は… 10月15日（月）～11月16日（金）

◆休館にあたって…

- ・電話でのお問合せには対応しています。（鷹栖地区住民センター ☎ 87-5390）
- ・図書室については9月1日（土）から休館しています。図書室へのお問合せは北野地区図書室へお願いします。（北野地区図書室 ☎ 87-5772）
- ・図書室の返却ボックスは10月14日（日）までご利用いただけます。

◆新鷹栖地区住民センターの利用について…

- ・新しいセンターは 11月17日（土）オープン
- ・一般の利用申込については、鷹栖地区住民センターへ直接お申し込みください。
（☎ 87-5390 ※FAX 兼）
- ・休館期間中でも利用申込は受け付けています。



【問合せ】 鷹栖町教育委員会 TEL 87-2028

北の恵みフェア～鷹栖～

9月から10月までの2カ月間の期間限定！

札幌市内のホテルで鷹栖牛や山恵のエゾ鹿肉、町産の新鮮野菜などを使ったメニューが提供されます。

旅行などで近くを訪れた際は、ぜひお立ち寄りください。

- ・期 間 9月1日（土）～10月31日（水）
- ・場 所 札幌ビューホテル大通公園（札幌市中央区大通西8丁目）
- ・対象店舗 グリルブッフェ&レストラン・バー Audrey、中国料理 オードリー 緑花 ルファ
- ・町民特典 上記の期間中、鷹栖町在住・在勤の方はレストランの飲食代が10% OFFに！



平成29年にポールスター札幌で開催した物産展

証明できるものをご持参ください

◆鷹栖物産展第1弾

- ・日 時 10月11・12日（木・金）
午前11時～午後7時
（12日は午後6時30分まで）
- ・場 所 ポールスター札幌
（札幌市中央区北4条西6丁目）

◆鷹栖物産展第2弾

- ・日 時 10月19・20日（金・土）
午前11時～午後5時
（20日は午後3時まで）
- ・場 所 札幌ビューホテル大通公園



フィットネス倶楽部コレカラ 無料体験&体力測定・健康相談会

健康福祉課健康長寿係 ☎ 87-2112

「敬老の日」の特別企画として、無料体験会と体力測定や保健師による健康相談会を開催します。

▼日時 9月17日(月) 午前9時～午後4時半

▼参加 40歳以上の町民の方

- ▼内容
- ①サーキット運動 午前9時、午後1時
 - ②レッドコード教室
午前9時30分、午前10時40分
午後2時10分、午後3時20分(全4回)
 - ③あったかすりハビリ体操教室 午後1時

▼無料バス運行

行き：午前10時10分 はびねす前発車

帰り：午前11時50分 フィットネス前発車

※乗車を希望する方は、9月14日までに健康福祉課健康長寿係までご連絡ください。



第14回鷹栖町郵便局長杯 パークゴルフ大会参加者募集

教育課体育振興係 ☎ 87-2028

▼日時 9月29日(土)

受付 午前7時15分～40分

開会式 午前7時45分

▼場所 北野軽スポーツ公園パークゴルフ場

▼参加料 協会員 500円

一般町民 700円

※コース使用料100円(別途)

▼参加資格 鷹栖町民・鷹栖町PG協会会員・町PG協会加盟団体に登録している町外者

▼入賞

男子・女子ともにフライト制で上位入賞者、ホールインワン賞(指定ホールのみ)、飛び賞など

▼申込締切 9月19日(水)



パレットヒルズで開催!

みんなで森であそぼう(3回目)

・日時 9月15日(土)

午前10時～午後3時

・対象 幼児と親から中学生まで

・参加費 無料

・問合せ パレットヒルズと歩く会 川原

☎ 090-2873-6974

イベント



午前9時から12時まで
保健師による健康相談会開催

←このマークが
ヘルプマークです。

- ・ 内部障がいや難病の方
- ・ 妊娠初期の方
- ・ その他援助や配慮を必要とする方
- ▼配付の対象となる方の例
- ・ 義足や人工関節を使用している方

▼マークの目的は?
「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、外見からは配慮を必要としないことが分かりにくい方の意思表示を支援するためのものです。市町村と北海道が連携してヘルプマークの活用を推進し、町民(道民)による障がいのある方などへの合理的な配慮が的確に行えるような環境整備を図ることを目的としています。

▼もしヘルプマークを見かけたら:
・ バスの中や待合場所などで席をお譲りください。外見では健康に見えても疲れやすかったり、同じ姿勢を保つことが大変な方がいます。
・ 災害時、安全に避難するための支援のご協力をお願いいたします。障がいなどにより状況を理解することが難しい方や、自力での避難が難しい方がいます。



ヘルプマークを知っていますか?

〜援助や配慮が必要な方のためのマークです〜

【マーク配付・問合せ先】
健康福祉課地域福祉係
(サンホールはびねす内)
☎ 87-2112

お知らせ

 **自殺予防週間**
9月10日～16日
健康福祉課保健推進係

自殺予防週間は、期間中の集中的な啓発事業などを通じて、自殺や精神疾患についての正しい知識を普及啓発し、偏見を無くしていくとともに、命の大切さや自殺の危険を示すサインなどの対応方法などについて国民の理解の促進を図ることを目的としています。自殺対策を推進するためには、自殺について、誤解や偏見をなくし、正しい知識を普及啓発することが重要です。毎年、9月10日からの一週間は自殺予防週間として設定し、国、地方公共団体が連携して、幅広い国民の参加による啓発活動を強力に推進しています。



旭川がん検診センター無料バス
健康福祉課保健推進係

旭川がん検診センター（旭川市末広東2条6丁目）で検診の受診を予定している方、検診を希望している方で交通手段がなくお困りの方に次の日程で、鷹栖町内からバスの送迎を無料で行います。

利用を希望される場合は、健康福祉課保健推進係までお申込みください。

また、対象となる方へは9月中旬頃に案内を発送しますのでご確認ください。

▼送迎バス運行日

- ・鷹栖、北斗、中央、北成地区 10月16日（火）
- ・北野地区 11月15日（木）

※検診はおおむね午前中に終了する予定です。詳しい時間やバスの乗降場所はお申込み後にご案内します。



国民年金保険料の後納制度について
町民課医療年金係

過去5年以内の期間に納め忘れた保険料を納付できる後納制度が、平成30年9月30日（日）で終了します。

後納制度とは、時効で納めることができなかつた国民年金保険料について、平成27年10月から平成30年9月までの3年間に限り、過去5年分まで納めることができる制度です。

後納制度を利用することで、年金額が増えたり、納付した期間が不足して年金を受給できなかつた方が年金受給資格を得られる場合があります。

後納制度を利用するためには、「国民年金後納保険料納付申込書」の提出が必要です。平成30年9月28日（金）までに旭川年金事務所まで手続きを行ってください。

▼問合せ先

・ねんきん加入者ダイヤル
☎ 0570-0031
004



生ごみ堆肥の販売を行います

町民課住民生活係 ☎ 87-2111

皆さんに分別をご協力いただいている、生ごみを原料にした堆肥の販売を行います。

▼価格

1袋（13kg） 200円

※町が管理する施設および公共施設の環境美化に寄与する場合は申請により無料

▼出張販売

9月14日（金）

午前中は鷹栖地区、午後には北野地区で販売します。

▼その他

今回より、世帯全員が70歳以上の場合は、出張販売に合わせ自宅まで堆肥をお届けします。詳しくは広報折込チラシをご覧ください。



ごみ処理作業の体験者を募集します

町民課住民生活係 ☎ 87-2111

分別の大切さを理解していただくことを目的に、ごみ処理作業の体験者を募集します。

▼募集

5名（随時受付、定員になり次第募集終了）

※高校生以下は保護者同伴

▼内容

ごみ処理場での分別作業などを1日体験

▼時間

午前9時～午後4時（休憩1時間）

▼謝礼

5千円

▼その他

体験日、時間、作業内容は相談して決定します。



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう たかすのアイドル☆

—今月、満1歳になる子どもたちを紹介します



あらた 松島 新 くん

男の子★司・育子さんの子

食べることと動くことが大好き！毎日おうちの中を探検しているよ♪

平成 29 年 9 月 7 日 生まれ

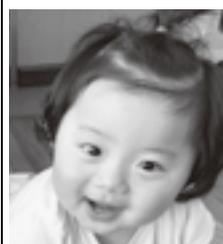


たいち 鈴木 大智 くん

男の子★啓太・瞳さんの子

たくさん食べて動いて毎日大忙し！ぼくは元気 100 倍☆たいちマン！

平成 29 年 9 月 15 日 生まれ



とうま 田中 登真 くん

男の子★耕平・摩美さんの子

お兄ちゃん、お姉ちゃん大好き♡たくさん食べて大きく成長中！

平成 29 年 9 月 21 日 生まれ



ともか 小柳 朋花 ちゃん

女の子★良介・ちなみさんの子

食べるの大好き♡いたずら大好き♡おしゃべりガールです！

平成 29 年 9 月 27 日 生まれ

電話連絡をすることがあります。

開始時間確認などのため連絡ください。また相談を受けます。内容の問合せは ☎ 59-5003 にご連絡ください。

▼相談について

かみかわ・くらし安心センター「ほっと」が相談を受けます。内容の問合せは ☎ 87-2112 申込みください。

▼申込み

開催日の2日前までに生活福祉相談センターにお申込みください。

▼場所

サンホールはびねす

▼日時

9月19日・10月17日
11月14日・12月19日
いずれも水曜日
午前10時から12時まで

くらしに関する悩みごと、困りごとについてご相談ください。(仕事、お金、家族、人との関係のことなど) ※要事前予約

くらしに関する相談会について
健康福祉課地域福祉係



高齢者交通安全講習会 参加者募集

町民課住民生活係 ☎ 87-2111

秋の全国交通安全運動期間に合わせ、高齢者交通安全講習会を開催します。当日は座学だけではなく、実技講習もあります。皆さんの参加をお待ちしております。

- ▼日時 9月28日(金) 午後1時～4時
- ▼集合場所 サンホールはびねす前
- ▼参加料 無料
- ▼講習会場 北海道クミアイ自動車学校
※講習会場まで、バスによる送迎があります。
- ▼申込締切 9月20日(木) ※先着50名
町民課住民生活係までご連絡ください
- ▼主催 鷹栖町交通安全協会



秋の全国交通安全運動 9月21日(金)～30日(日)

町民課住民生活係 ☎ 87-2111

次のことを重点事項とし、運動に取り組みます。

- ・子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ・夕暮れ時と夜間の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止
- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・飲酒運転の根絶
- ▼街灯啓発運動
9月21日(金) 午前7時45分～
9線4号交差点付近
- ▼パトライト作戦
9月30日(日) 午後6時～ 町内3カ所

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
	9月1日(土)から11月16日(金)まで鷹栖地区図書室が休館しています!!		9/5 ●ななかまど大学 ●北の恵みフェア 札幌ビューホテル 大通公園(~10/31)	6	7	8 ●朝市てくてく ●さっぽろ鷹栖会 総会(札幌市内)
9 ●ハレバレパレット 2018	10 ●はびねすバス利用者無料送迎バス 運行日(A・B) ●自殺予防週間(~16日)	11 ●老人会送迎日(長寿) ●第3回議会定例会(~13日まで)	12 ●乳幼児健診 ●女性サロン 公開講座 ●鷹栖高校体育祭	13 ●はびねすバス利用者への町営バス無料利用日	14 ●生ごみ堆肥 出張販売	15 ●朝市てくてく ●長生き感謝祭 ●みんなで森であそぼう
16 ●鷹栖中学校学校祭	17 ●はびねすバス利用者無料送迎バス 運行日(A・B) ●フィットネス倶楽部 コレカラ無料体験会 ●たかす未来予想図 巨大ぬりえイベント	18 ●老人会送迎日(親交)	19 ●ななかまど大学 ●くらしに関する 相談会	20 ●はびねすバス利用者への町営バス無料利用日 ●ナレン高校訪問団 来町(~26日)	21 ●秋の全国交通安全 運動(~30日) ●女性サロン 特別講座	22 ●朝市てくてく ●全日本PG大会 北海道上川 in 旭川
23	24 ●ホンダ杯PG大会	25 ●老人会送迎日(北成)	26 ●平成31年度就学 予定児健康診断	27	28 ●北の絵手紙交流展(~30日) ●高齢者交通安全講習	29 ●朝市てくてく ●鷹栖町郵便局長杯 PG大会 ●まちづくり セミナー
30	10/1 ●はびねすバス利用者無料送迎バス 運行日(A・B)	10/2 ●老人会送迎日(藤野)	10/3	10/4 ●こころの健康相談(※) ●はびねすバス利用者への町営バス無料利用日		

広報たかす

9

NO. 804
平成30年
9月号

創刊 / 1949年(昭和24年) 11月20日
 発行日 / 2018年(平成30年) 9月5日

発行者 / 鷹栖町 編集 / 総務企画課
 北海道 上川郡 鷹栖町 南1条3丁目5番1号

【8月25日現在】人口と世帯数

人口	6,935人(+2)
男	3,293人(+5)
女	3,642人(-3)
世帯数	3,069戸(-4)

() 内は前月比

8月中救急出動状況

急病	25件 (24人)
一般負傷	1件 (1人)
交通	0件 (0人)
その他	4件 (4人)
月合計	30件 (29人)
平成30年累計	274件 (256人)

※ 8/1 ~ 8/25 () 内は搬送人員

編集等記
 8月12日に、フォトグラファーの松井保さんをお迎えし、パレットヒルズで星空撮影教室を行いました。当日はあいにくの曇り空で、星の撮影はできませんでしたが、絶好の撮影日和には、絶対にお披露目できるように頑張ります!(夢)

= 窓口から =

こんにちは、よろしくね

氏名 両親
 鷹栖南 橋本 彩花ちゃん 拓さん・里美さん
 鷹栖南 舟根 かなたちゃん 和也さん・佳奈さん

おくやみ申し上げます

氏名 年齢
 1区 川邊キリ子さん 92歳
 北野東 膳法 信代さん 80歳
 14区 村椿 通子さん 73歳
 鷹栖南 柿崎すみ子さん 87歳

結婚おめでとう ございます

新郎 新婦
 北野東 鈴木 祥平さん 名寄市 小笠原 菜水さん

あたたかい心 ありがとうございました

○社会福祉協議会へ
 ☆香典返しご寄付
 ・川邊 豊さん
 ・村椿 信行さん
 ・菅原美恵子さん